

失ノ勤勞顯功章ヲ發見シタルトキハ速ニ陸軍大臣ニ其ノ一ヲ返納スベシ

第五條 勤勞顯功章ハ本人ニ限り終身之ヲ佩用シ遺族之ヲ保存スルコトヲ得

第六條 勤勞顯功章ヲ授與シタルトキ又ハ第三條ノ規定ニ依リ之ヲ返納セシメタルトキハ官報ヲ以テ之ヲ公示ス

第七條 勤勞顯功章ハ式典其ノ他ノ廉アル場合ニ之ヲ佩用スルモノトス

第八條 地方表彰ハ陸軍軍需動員部隊又ハ陸軍大臣ノ指定スル部隊(以下單ニ部隊ト稱ス)所屬ノ雇員、傭人及工員ニシテ其ノ職務ニ精勵シ勤勞報國ノ實ヲ擧ゲタルモノニ部隊長勤勞章ヲ授與シテ之ヲ爲スモノトス

第九條 勤勞章ノ形狀及制式ハ附圖ノ如シ

第十條 勤勞章ハ之ヲ右肋ニ佩ブルモノトス

第十一條 第二條乃至第五條及第七條ノ規定ハ勤勞章ニ之ヲ準用ス但シ第四條中陸軍大臣トアルハ部隊長トス

第十二條 勤勞顯功章及勤勞章ヲ授與スル場合ニハ表彰狀及副賞トシテ賞金ヲ付與ス

附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

俘虜派遣規則の公布

戰時下勞働力の逼迫に際し俘虜勞働力の生産的利用は人口問題上も注目せらるゝ所多いが、昭和十七年十月二十一日付官報を以て公布せられたる俘虜派遣規則並に同日付官報所載の派遣俘虜取扱規則を掲ぐれば左の

如くである。

俘虜派遣規則 (昭和十七年十月二十一日 陸軍省令第五十八號)

第一條 本令ニ於テ俘虜ノ派遣ト稱スルハ俘虜ヲ勞務ニ服セシムル爲メ俘虜收容所外ニ派遣居住セシムルヲ謂ヒ派遣俘虜ト稱スルハ派遣セラレタル俘虜ヲ謂フ

第二條 工場、事業場等ニ於テ俘虜ノ派遣ヲ受ケントスルトキハ第六條乃至第十一條ノ規定ノ實施ニ關スル計畫書ヲ定メ之ヲ別紙様式ノ願書ニ添附シ當該俘虜收容所ヲ管理スル軍司令官又ハ衛戍司令官(以下單ニ俘虜收容所管理長官ト稱ス)ニ提出シ其ノ許可ヲ受ケベシ計畫書ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第三條 公共團體又ハ法人ノ願出ニ在リテハ其ノ代表者ヨリ之ヲ提出スベシ

第四條 俘虜ノ派遣ヲ許可セラレタル者(以下單ニ派遣俘虜使用者ト稱ス)ハ本令及第二條ノ規定ニ依リ

俘虜收容所管理長官ノ許可シタル計畫ノ實施ニ關シ

俘虜ヲ差出シタル俘虜收容所長(以下單ニ俘虜收容所長ト稱ス)ノ指示ヲ受クベシ

第五條 派遣俘虜使用者ハ本令及第二條ノ規定ニ依リ

俘虜收容所管理長官ノ許可シタル計畫ノ實施ニ關スル諸規程ヲ定メ俘虜收容所長ノ承認ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第六條 派遣俘虜使用者ハ派遣俘虜ノ居住、取締ニ要スル設備ヲ整備維持スベシ

第七條 派遣俘虜使用者ハ派遣俘虜ノ取締ノ爲メ必要ナル設備ハ概ネ俘虜收容所ニ準ズルモノトス

ノ警戒員ヲ差出シ俘虜ヲ差出シタル俘虜收容所(以下單ニ俘虜收容所ト稱ス)ヨリ派遣セラレタル職員ノ指揮ヲ承ケシムベシ

第八條 派遣俘虜使用者ハ派遣俘虜ノ勞務指導ニ任ズベシ

第九條 派遣俘虜ノ糧食、寢具、燬室用薪炭、日用品、旅費(俘虜ノ派遣及復歸ニ要スル旅費ヲ含ム)其ノ他ノ給與ハ派遣俘虜使用者之ヲ擔當シ概ネ俘虜收容所ニ準ジタル給與ヲ爲スベシ但シ將校タル派遣俘虜及敵國軍衛生人員ノ俸給並ニ俘虜著裝被服使用ニ堪ヘザルニ至リタルトキ之ニ貸與スベキ被服ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ外派遣俘虜使用者ハ派遣俘虜ノ勞務ニ要スル被服ヲ整備スベシ

第十條 派遣俘虜使用者ハ俘虜給與規則第十三條ニ定ムル金額(二十五錢以内ノ増給額ヲ含ム)ヲ基準トスル賃金ヲ俘虜收容所長ニ納付スベシ

第十一條 派遣俘虜ノ醫療ニ關シテハ派遣俘虜使用者之ヲ擔當スベシ但シ入院ヲ要スル派遣俘虜ノ治療ニ關シテハ俘虜收容所長ノ定ムル所ニ依ル

第十二條 派遣俘虜死亡シタルトキハ死亡ノ日ニ遡リテ俘虜收容所ニ復歸ノ手續ヲ爲スモノトス

第十三條 派遣俘虜使用者ハ俘虜收容所長ノ定ムル所ニ依リ日誌ヲ備ヘ派遣俘虜ニ關シ必要ナル事項ヲ記入スベシ

第十四條 派遣俘虜使用者ハ俘虜收容所長ノ定ムル所ニ依リ毎月十日、二十日及月末ニ於テ派遣俘虜ノ狀況(勞務ノ成績、衛生狀態其ノ他主要ナル事項)ヲ俘虜收容所長ニ報告スベシ

第十五條 派遣俘虜使用者本令又ハ第二條ノ規定ニ依

リ俘虜收容所管理長官ノ許可シタル計畫ニ違反シタルトキハ俘虜收容所管理長官ハ俘虜派遣ノ許可ヲ取消スコトヲ得

前項ノ取消ニ由ル俘虜ノ復歸ニ要スル一切ノ費用ハ派遣俘虜使用者ノ負擔トス

第一項ノ場合ニ於テ派遣俘虜使用者ハ許可ノ取消ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ズ

第十六條 派遣俘虜使用者ハ本令ニ規定ナキ事項ヲ行フコトヲ得ズ

第十七條 本令ニ依リ俘虜收容所管理長官ト派遣俘虜使用者間ニ授受スベキ書類ハ俘虜收容所長ヲ經由スベシ

第十八條 前諸條ノ規定ハ官廳ニ俘虜ヲ派遣スル場合ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別紙

(用紙適宜)

俘虜派遣許可願
年 月 日

住所
職業

氏名
生年 月 日

何軍司令官(師團長)殿

左記ニ依リ俘虜派遣規則ニ依ル俘虜ノ派遣ヲ受ケ度候間御許可相成度別冊計畫書相添へ申請候也

左記

- 一、俘虜ノ員數
- 一、俘虜ノ使用場所
- 一、俘虜使用期間

派遣俘虜取扱規則 (昭和十七年十月二十一日 陸運第七十四號)

第一條 派遣俘虜ノ取扱ニ關シテハ俘虜派遣規則及本達ニ依ルノ外俘虜取扱規則、俘虜取扱細則、俘虜勞役規則及其ノ他ノ關係諸條規ニ依ル

第二條 俘虜收容所管理長官俘虜ヲ工場、事業場等ニ派遣セントスルトキハ俘虜勞務規則第四條及第五條、俘虜派遣規則並ニ本達ノ定ムル所ニ依リ派遣俘虜ノ居住、取締、勞務、給與、醫療等ニ關スル事項ヲ定メ陸軍大臣ノ認可ヲ受クベシ

第三條 派遣俘虜ノ取扱ニ關シテハ俘虜派遣規則及本達ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外之ヲ差出シタル俘虜收容所長(以下單ニ俘虜收容所長ト稱ス)ニ於テ處理スルモノトス

第四條 俘虜收容所長俘虜ヲ派遣スルニ方リテハ其ノ有スル技能ノ外特ニ其ノ性質、思想、經歷等ニ就キ周密ナル調査、觀察ヲ爲シ逃走及不慮ノ災害等ノ豫防ニ努メ且派遣ニ先チ所事項ニ關シ嚴肅ナル宣誓ヲ爲サシムルモノトス

第五條 俘虜收容所長俘虜ヲ派遣スルニ方リテハ所要ノ職員ヲ附シ派遣俘虜ノ取締警戒ニ任ゼシムルモノトス

第六條 派遣俘虜ノ取締ニ關シテハ左ノ各號ニ依ルモノトス

- 一 特ニ取締警戒ヲ嚴重ニシ防禦ニ努ムルト共ニ派遣俘虜ノ逃走及不慮ノ災害等ヲ防止スルモノトス

二 派遣俘虜ノ外出ハ特別ナル事由アルニ非ザレバ

實施セザルモノトス又外出ノ際ハ必ず監視人ヲ附スルモノトス

三 派遣俘虜ノ發受スル電信及郵便物ハ總テ俘虜收容所長ヲ經由シ其ノ檢閲ヲ受クルモノトス

四 派遣俘虜ニ對スル面會及派遣場所ノ視察等ハ俘虜收容所長ヲ經テ俘虜收容所管理長官ノ許可ヲ得タルモノノ外之ヲ行ハシメザルモノトス

五 派遣俘虜自費ヲ以テ嗜好品其ノ他日用品等ヲ購入セシムルコトヲ申出ヅルトキハ俘虜收容所長ノ定ムル所ニ依リ之ヲ許可スルコトヲ得

六 派遣俘虜ニ對シ金錢物品ヲ寄贈セントスル者アルトキハ俘虜收容所長ノ定ムル所ニ依リ之ヲ許可スルコトヲ得

派遣俘虜ヨリ金錢物品ヲ發送セントスルトキハ俘虜收容所長ヲ經由シ其ノ檢査ヲ受クルモノトス

第七條 俘虜收容所長ハ隨時派遣俘虜ニ對スル巡視又ハ査閲ヲ實施スルモノトス

第八條 俘虜收容所管理長官ハ派遣俘虜ノ交替ヲ命ジ又ハ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ派遣俘虜ノ増加若ハ復歸ヲ命ズルコトヲ得

昭和十七年優良多子家庭に關する

附帶集計の發表

昭和十七年度の表彰優良多子家庭の概略については前號所報の如くであるが、右表彰家庭につき厚生省人口局に於いて集計せる結果を掲ぐれば以下の如くである。